

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立四十万小学校] 担当教諭名[藤田 清士] (6年2組 27名)

交流相手国[フィリピン]

海外学校名[Philippine Nikkei Jin Kai International School] 担当教諭名[Elizaer Christian E. Cabilan]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	国際交流～伝えよう！金沢の魅力～	70
	英語	Welcome to Kanazawa	2

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	金沢とフィリピンの都市のよさを紹介し合おう
絵に込めたメッセージ	お互いの「都市のよさ」を紹介し合おうということをテーマに、伝統的かつ現代的な金沢の魅力を散りばめた。中央には、ハートをバックに「固く握手をする絵」を入れた。世界平和のために、日本とフィリピンはもちろん、「いろんな国の人たちがハートの周りで仲良くしていく」というメッセージを込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・相手国の文化に興味関心を持ちながら、自国の文化について理解を深めることで、自分たちの「ふるさと金沢のよさ」について再確認することができた。 ・相手国との交流や自国における様々な活動においてもコミュニケーションの大切さを感じることができた。	・子ども同士の1対1で直接相手とコミュニケーションをとることができなかった。そのため、子ども達が相手国との交流を深めたという実感が少なかった。テレビ会議や手紙等で1対1の交流機会をもっと増やすことが必要だと感じた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
これまでは、「ふるさと金沢」について、自分たちがたまたま住んでいる所、伝統的な文化で有名だけど具体的には？将来の金沢は？…というように受け止めていた。しかし、アートマイル活動に取り組むことで、地元金沢の未来について6年生が一市民として考えられたことは、社会科の学習と併せて、新幹線開通に伴う若者の都市への流出、若者の投票率の低下傾向、市民同士の関係が希薄化等、問題視されている現代社会においても意義あることになった。	これから子ども達に求められる能力が教師自身に求められることを実感した。例えば、コミュニケーション能力、自己他者理解の大切さ、国際交流経験、情報収集のノウハウの価値を見つめ直す等、自身の学級経営に通じるものがたくさんあった。 また、子ども達の協同絵画作成時の一体感や自ら仕事を見つけて進んで働く姿から、このような協同学習経験や価値付けを大切に、子ども達のこれからの流動的な社会で生きる力にしていきたい。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	7月 10月	・既習の英語をもとに、自己紹介カードを作成し、英語でコミュニケーションをとる機会を与えた。 ・相手国に自分たちのクラスの様子を伝えるためにビデオレターを作った。	・自分が今知っている簡単な表現で英文を書くことで、相手意識をより強く持つことになった。 ・言葉にプラスして、自分の得意なマジックやフラフープ、ダンスといったことでも自分たちを表現できるとうことを実感した。	英語1 総合6
テーマ学習	7月 9月 10月 11月	・相手国がフィリピンであることを知り、図書館や本やインターネットを使って調べたことを個人新聞にまとめた。 ・金沢についての調べ学習を終えたところで、興味を持った事柄について、テーマごとのグループ化し、実際に見たり体験したりする金沢めぐりを行い、パンフレットにまとめた。 ・学習発表会で、これまで学習してきたことを他の学年や保護者を相手にパワーポイントに効果的にまとめ、子どもがグループ内やグループ間で関わり合いながら発表した。	・新聞作りによって、相手国と自国の似ているところの多さに気づき、より身近に感じる事ができた。 ・新たに発見したことや疑問に思ったことをまとめることによって、改めて自分たちが住んでいる金沢市のよさを感じることができた。 ・自分たちが集めた資料をわかりやすく相手に伝えるための様々な工夫が生まれ、意欲的に活動する姿が見られた。また、自信がない子どもも回を重ねるごとに発表の質を高めていくことやこれからの金沢の未来について提案する子どもも見られた。	総合47
構図決定	12月	・金沢のよい所が写真と英文で相手国に紹介した。	・自分たちが絵画の題材にしたいものをしぼることができた。 ・「都市のよさ」を題材にしながら、ハートをバックに「固く握手をする絵」を入れた。世界平和のために、日本とフィリピンはもちろん、「いろんな国の人たちがハートの周りで仲良くしていく」というメッセージを込めた。	総合5 英語1
壁画制作	12月	・アートマイル実行委員が中心となって、クラスの意見をまとめ、協同絵画を作成した。	・どの子どもも積極的に、準備、後片付け、色塗りなどを行い、クラスがまとまり、とても温かい良い時間と空間があった。	総合10
鑑賞・振り返り	3月	・黒板に協同絵画をはり、ワークシートを使ってふり返りを行った。	・建物だけでなく、自然や食べ物のよさも感じる事ができた。子ども達の達成感は大きかった。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入（A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった）

「成果」先生の手応え（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった）

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	伝統的な文化のよさについて具体的にまとめることができた上に、未来の金沢に対する提言をする子どもがいたから
異文化の理解	A	3	調べ学習ができたが、双方向のコミュニケーションがタイムリーにできなかったから
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	自分たちの活動でコミュニケーションをとっていたが、1対1のコミュニケーションが不十分だったから
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	調べ学習や金沢めぐりの情報収集ができたが、相手国に対する個人的な情報発信が不十分だったから
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	自分たちの活動でコミュニケーションをとっていたが、相手国との1対1のコミュニケーションが不十分だったから
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	自分たちの活動で、ほとんどの子どもが進んで働いていたし、様々な活躍場面があったから
学習を追究する意欲	B	3	自国の新たな疑問に対する追求活動はあったが、相手国に対する新たな疑問がうまれる程のやりとりが十分でなかったから
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	都市のよさに加えて、平和へのメッセージを加えることができたから
作品を鑑賞する力	C	1	卒業式間近で時間的な余裕がなかったから